

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] アート・インキュベーション・プログラム
**CCBTのアーティスト・フェローによる公演・展覧会を
 都内各地で連続開催**

contact Gonzo、和田永が率いるELECTRONICOS FANTASTICOS!、
 次世代クリエイティブ集団・Synfluxなどのフェロー活動の成果を公開



アーティスト・フェローによる活動の様子/作品イメージ

アートとテクノロジーを通じて人々の創造性を社会に発揮するための活動拠点、シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]（以下、CCBT）のアーティスト・フェローによる公演や展覧会を、2024年3月にCCBTおよび都内各所にて開催します。

本フェローは、CCBTにおける作品制作、創作過程の公開やワークショップ等を実施し、CCBTのパートナーとして活動しています。CCBTでは、制作費として1,000万円を上限にサポートし、制作スペース及び機材の提供やテクニカルサポート、メンターをはじめとした様々な専門家からのアドバイスなどを通じて、企画の具体化を行っています。

本年度は、AIの予測と人間の体感を検証するプロジェクトや、7つの感覚を刺激する新たなセンサールーム、デジタルとファッションの未来への探求など、アート、デザイン、テクノロジーによる様々なアイデアを具体化してきました。さらに、contact Gonzoによる皮膚をテーマとした新作パフォーマンス、和田永が率いるELECTRONICOS FANTASTICOS!が総勢60名で家電楽器とともに行列する新たな祭も順次開催。フェロー活動の成果となる展覧会、公演等の多彩なイベントを通じ、アートとテクノロジーによる創造性をお楽しみいただけます。

CCBT 2023年度アーティスト・フェロー

コンタクト・ゴンゾ
 ・contact Gonzo
 ・スヌーズレン・ラボ
エレクトロニコス・ファンタスティコス
 ・ELECTRONICOS FANTASTICOS!

シンフラックス
 ・Synflux
てんぶら
 ・TMPR（岩沢兄弟+堀川淳一郎+美山有+中田一会）

本プレスリリースに掲載の画像は、bit.ly/3UO9Zf1 からダウンロードできます。



この機会に、取材や記事掲載にご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

【広報に関する問い合わせ先】

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]（公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京） 担当：島田・廣田
 電話：03-5458-2700 ※13:00~19:00（火~日） Email: ccbt@rekibun.or.jp

※内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

1. CCBTアーティスト・フェロー活動とは

クリエイティブ × テクノロジーで東京をより良い都市に変える表現・探求・アクションをつくり出す、国内最大規模となるアーティスト・フェロー制度

CCBTのコアプログラム「アート・インキュベーション」では、公募・選考によって選ばれるクリエイターを「CCBTアーティスト・フェロー」として委嘱しています。本フェローは、CCBTを拠点に企画の具体化と発表、創作過程の公開やワークショップ等の活動を実施し、CCBTのパートナーとして活動します。CCBTでは、制作費上限1,000万円のほか、制作スペースおよび機材の提供、テクニカルとマネージメント、メンターをはじめとした様々な専門家からのアドバイスなどのサポートを行っています。

昨年（2022年）度の同プログラムでは、全5組のアーティスト・フェローが、ワークショップやレクチャー、展示会の開催、街なかでの展示等全30プログラムを実施。延べ5,000人を超える参加者と交流し、アートとテクノロジーによる創造性を、社会へと積極的にアウトリーチしました。

CCBTアーティスト・フェロー活動

(1) 新たな表現の創造・研究開発および発表

CCBTを拠点に創作活動・研究開発等を行い、その成果をCCBTや都内街なか等で発表・展開する。

(2) 創作活動・研究プロセスの公開

創作活動およびそのプロセスの公開や、ワークショップ、レクチャー等の開催を通じ、市民がクリエイティブ×テクノロジーに触れる機会を創出する。

(3) 多様な人々との協働と共創

市民、アーティスト、デザイナー、エンジニア等、CCBTに集う人々、さらにはCCBTを取り巻く様々な主体との協働を牽引し、未来を共創する場を創造する。



【写真】2023年度 CCBTアーティスト・フェローの活動の様子

【左から上段】フェローとメンターによる中間面談 / コンタクト・ゴンゾ contact Gonzoによる試演会 / エレクトロニクス・ファンタスティコス ELECTRONICOS FANTASTICOS「オープンスタジオ」

【下段】スヌーズレン・ラボのプレゼンテーション / エンボラ TMPR (岩沢兄弟+堀川淳一郎+美山有+中田一会) 「動点観測所 (35.39.36.02/139.42.5.98)」

2023年度も、国内外で活躍するプロデューサー、キュレーター、デザイナー、エンジニア等が、メンターとしてアーティスト・フェロー活動に伴走。

2023年度アート・インキュベーション・プログラム メンター

いすたえこ（アートディレクター、グラフィックデザイナー）、宇川直宏（“現在”美術家、DOMMUNE 主宰）、久世祥三（アーティスト、エンジニア）、竹川潤一（一般社団法人 MUTEK Japan 理事）、田中みゆき（キュレーター、プロデューサー）、細川麻沙美（札幌国際芸術祭事務局統括マネージャー）

2. 公演・展覧会一覧

※すべて入場無料

日程	開催概要	会場	カテゴリ
3月1日 (金) ・ 2日 (土) ・ 3日 (日)	contact Gonzo 新作パフォーマンス公演「my binta, your binta // lol ~ roars from the skinland ~」	ヒルサイドブラザ	パフォーミングアーツ 公演
3月5日 (火) ~10日 (日)	スヌーズレン・ラボ 展示「みて・さわって・きいて — 感じてあそぶスヌーズレン・ラボ」	CCBT	福祉 デザイン 展覧会
	※プレス内覧会 3月4日 (月) 13時30分~ (受付 13:00開始)		
3月15日 (金) ~24日 (日)	Synflux 展覧会「Algorithmic Couture Alliance — デジタルとファッションをめぐる対話」	CCBT	ファッション デザイン 展覧会
3月17日 (日)	ELECTRONICOS FANTASTICOS! 新作パフォーマンス公演「発電磁行列」	東京国際クルーズターミナル、東八潮緑道公園	音楽 環境 公演
3月22日 (金)	2023年度 CCBTアーティスト・フェロー 活動報告会	CCBT	
【開催終了】 1月12日 (金) ~21日 (日)	TMPR (岩沢兄弟+堀川淳一郎+美山有+中田一会) ワークショップ「動点観測所 (35.39.36.02/139.42.5.98)」	CCBT	AI ワークショップ

詳細・申し込みについては公式ウェブサイトをご確認ください。

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]
アート・インキュベーション・プログラム
<https://ccbt.rekibun.or.jp/core-programs/art-incubation>



公式サイト

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツ
カウンシル東京 シビック・クリエイティブ・ベース東京
[CCBT]

※ご取材や記事掲載に関しては、広報に関する問い合わせ先にご連絡ください。

2023年度 CCBTアーティスト・フェロー 活動報告会

2024年3月22日 (金) 14:30~18:30

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] ※申込不要

アーティスト・フェローと作品制作に伴走したメンターが登壇し、本年度の活動を振り返る報告会を開催。5組のクリエイターによる活動発表を行います。

プレゼンター：Synflux、contact Gonzo、スヌーズレン・ラボ、
ELECTRONICOS FANTASTICOS!、
TMPR (岩沢兄弟+堀川淳一郎+美山有+中田一会)

登壇者 (本プログラムメンター)：

いすたえこ、宇川直宏、久世祥三、竹川潤一、田中みゆき、細川麻沙美



3. CCBTおよび都内での作品等の発表 [1]

CONTACT GONZO
contact Gonzo 新作パフォーマンス公演
マイビンタ ユアビンタ ロアース フロム ザ スキンランド
「my binta, your binta // lol ~ roars from the skinland ~」

「皮膚／スキン」をテーマに、新作パフォーマンスを発表。
contact Gonzoがパフォーマンス内で感じる衝撃を、鑑賞者も体感！

日時：2024年3月1日（金）19:30（19:00開場）、3月2日（土）15:30（15:00開場）、
3月3日（日）15:30（15:00開場）

会場：ヒルサイドプラザ（東京都渋谷区猿楽町29-10ヒルサイドテラス内）

肉体の衝突を起因とする即興的なパフォーマンスを繰り返すcontact Gonzoが、パフォーマンス中に感じる痛みや衝撃を鑑賞者と共有する新作を発表。

CCBTのフェロー活動では、「皮膚／スキン」に関するリサーチを経て、皮膚が「外からの情報を微細に受け取る感覚器官」であり、さらに「情報を自ら発信するインターフェース」であることに着目。さらに、人と人との接触やその速度・圧などの情報を電気信号化する複数のオリジナルデバイスを開発しました。

本公演では、contact Gonzoが皮膚を通じて得ている／発信している肉体的体験や感覚を増幅させ、会場に設置された8台の巨大なウーファー（重低音スピーカー）により音圧として拡散します。鑑賞者の視聴覚に留まらないフィジカルな感覚に訴えるパフォーマンスが実現します。

「感覚共有」のcontact Gonzo的解釈を、文字通りビリビリ、ヒリヒリ、全身でお楽しみください。



出演・コンセプト：contact Gonzo（塚原悠也、三ヶ尻敬悟、松見拓也、NAZE）
コンセプトサポート：津田和俊
舞台監督：河内崇
音響設計：西川文章
音響オペレート：溝口紘美（ナンシー）
デバイス設計：稲福孝信
照明デザイン：contact Gonzo
テクニカルサポート：伊藤隆之（CCBT）
ビジュアルデザイン・衣装：小池アイ子
ドローイングアーカイブ：NAZE
制作・進行管理：林慶一、岩中可南子、島田芽生（CCBT）
協力：happy freak

■制作中の様子



contact Gonzo×永田和宏トーク
「『閉じつつ、開く』システムと境界～
bintaの深層～」



「Welcome to the Skinland ー皮膚から
の情報を意識化するワークショップー」



試作オリジナルデバイス



CCBTにおける試演会

CONTACT GONZO contact Gonzo (パフォーマンスユニット)



2006年結成。肉体の衝突を起因とする牧歌的崇高論を応用し、即興的なパフォーマンスや映像、写真作品の制作、マガジンの編集などを行う。独自に製作した構造物でレモンなどの果物を時速100キロで撃つ事ができる。

Photo by Lieko Shiga

3. CCBTおよび都内での作品等の発表 [2]

スヌーズレン・ラボ

展示「みて・さわって・きいて — 感じてあそぶスヌーズレン・ラボ」
～こども心にもどって、インクルーシブな環境を感じる体験を～

光・音・匂い・振動などを用いて、7つの感覚を楽しむインクルーシブな環境。
多彩な展示物から「感じるコミュニケーション」を体験してみよう！

会期：2024年3月5日（火）～3月10日（日）13:00～19:00

※ファミリータイム 11:00～13:00

（赤ちゃんや小さなお子さま、重症心身障害のお子さまが安心して遊べる環境として一部スペースを開放します）

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

1970年代のオランダで重度知的障害者の余暇活動として始まり、日本でも福祉施設を中心に普及してきた「スヌーズレン」。この「スヌーズレン」をベースとする本展示では、光・音・匂い・振動・触覚の素材などを用いたインクルーシブな環境を作り出します。ハイハイ前の赤ちゃんや重度障害のあるこどもも楽しめるブランコ、幻想的で優しい光や色、音などで構成されたコーナーなど、企業のプロダクトやオリジナルのデバイスが大集合。また、身体機能に関わらずみんなが楽しめることを目指す没入型インタラクティブ・プロジェクション「ミラージュ」、複数の香りを楽しむ「くんくんソムリエ」も登場します。視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚の五感に、前庭覚・固有受容覚を加えた7つの感覚を刺激する様々な仕掛けが広がる空間で、当事者・介助者・空間の3要素が相互に絡み合う環境を提案します。



関連イベント

○ワークショップ「香りで探す“私”の感情」

日時：3月6日（水）、3月7日（木） 各日11:00～12:15

講師：スヌーズレン・ラボ

協力：梶川美久里（株式会社ポーラ）

定員：各日9名（事前申込、先着順）

※定員に達し次第、受付終了

対象者：[6日の回] 1歳未満のお子さんを育てている方

[7日の回] 障害のあるお子さんを育てている方

○トークイベント

「もっとインクルーシブに遊び・育ち・はたらく」

日時：3月8日（金）19:00～21:00

登壇者：スヌーズレン・ラボ、秋山政明（一般社団法人Bruano 理事）、永峰玲子（一般社団法人mogmog engine）、大槻昌美（非営利型株式会社Polaris代表取締役）

スヌーズレン・ラボ（共創プラットフォーム）



スヌーズレン・センサリールームの環境づくり&乳幼児のデジタルコンテンツの企画開発が専門の橋本敦子に、サステナブルなチーム作りを手がけてきた市川望美がジョイン。活動に共鳴する企業・団体が構成していく共創プラットフォーム。

3. CCBTおよび都内での作品等の発表 [3]

エレクトロニクス ファンタスティコス ELECTRONICOS FANTASTICOS! 新作パフォーマンス公演 「発電磁行列」

アーティスト・和田永が率いる通称NICOS（ニコス）が見せる、約60名・30mの大行列。再生可能エネルギーで駆動する巨大な山車と、家電で作られた楽器で奏でられる「電磁祭囃子」を楽しもう！

日時：2024年3月17日（日）18:00～19:00

会場：東京国際クルーズターミナル（東京都江東区青海二丁目地先）、
東八潮緑道公園（東京都品川区東八潮3-1）

※雨天時は、東京国際クルーズターミナル屋内でパフォーマンスを行います。

国内5都市とインターネット上にラボを立ち上げ、参加型アートプロジェクトとして創作活動を続けてきた「ELECTRONICOS FANTASTICOS!（エレクトロニクス・ファンタスティコス!）」が、新作パフォーマンスを発表します。

今回のお祭り「発電磁行列」では、再生可能エネルギーで駆動する「発電祭山車」と、古家電を改造した「家電楽器」が登場。約60名からなる約30mにおよぶ行列は「電磁祭囃子」を奏でながら練り歩きます。

CCBTを拠点に様々な人々と未知の山車や楽器、楽曲を共創してきた本プロジェクト。音楽、アート、エンジニアリング、サイエンス、デザインなどの多様なジャンルが混ざり合う現代的な共創の場がついに実現します。



協力：東京都港湾局

■これまでのフェロー活動の様子



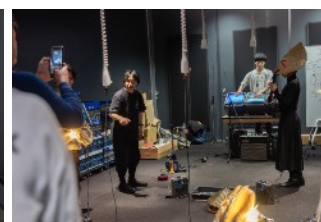
キックオフ・ミーティング



キックオフ・ミーティング



CCBTで開催されたオープンスタジオ



CCBTで開催されたオープンスタジオ

エレクトロニクス ファンタスティコス

ELECTRONICOS FANTASTICOS! (参加型アートプロジェクト)

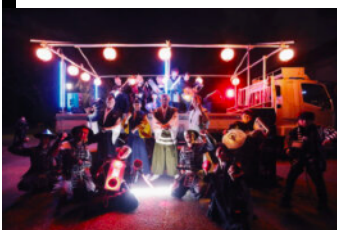


Photo by Mao Yamamoto

アーティストの和田永を中心に、様々な人々が共創しながら役割を終えた電化製品を新たな「電磁楽器」へと蘇生させ、徐々にオーケストラを形づくっていくプロジェクト。

和田永（アーティスト、ミュージシャン）

学生時代より音楽と美術の領域で活動を開始。年代物のオープンリール式テープレコーダーを演奏する音楽グループ「Open Reel Ensemble」主宰。2015年より役割を終えた電化製品を新たな楽器として蘇生させ、オーケストラを形作るプロジェクト「エレクトロニクス・ファンタスティコス!」を始動させて取り組む。その成果により、第68回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



Photo by 海波 | minami

3. CCBTおよび都内での作品等の発表 [4]

シンフラックス アルゴリズムック クチュール アライアンス
Synflux 展覧会「Algorithmic Couture Alliance

—デジタルとファッションをめぐる対話—

再生/生成が導く未来のファッションの可能性を提示。
展覧会や関連トークなどを通じて、デジタルファッションを考える。

会期：2024年3月15日（金）～3月24日（日）13:00～19:00 ※月曜休館

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

持続可能なファッションの未来のために、デジタルファッションの再定義に挑戦するプロジェクト。展覧会「Algorithmic Couture Alliance」では、デジタルファッションにある歴史的な文脈や領域横断的な潮流、そしてSynfluxの活動を紹介します。また、多分野のプレイヤー/有識者の知見を共有するトークを開催します。

仮想空間のみならず物理的な体験や製造と交錯するデジタルファッション。Synfluxの独自技術「Algorithmic Couture」や「WORTH」の価値観を発展させ、その可能性を改めて考えることで、再生/生成が導く未来のファッションを提案します。



リサーチ、コンセプト：Synflux
デザイン：Kamimura & Co
展示デザイン：studio arche

関連イベント

○オープニングトーク

日時：3月15日（金）18:00-22:00 会場：SUPER DOMMUNE（配信あり）

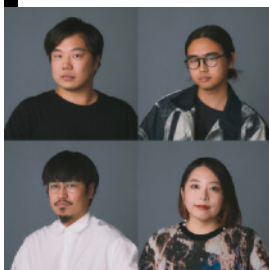
18:00-20:00 「デジタル時代のファッションとメディア、ジェンダー、ローカルティ（仮）」
20:00-22:00 「今、ファッション批評は可能か？（仮）」

○オープン・ダイアローグ 「デジタルな私と滑らかなファッションデザイン？」

日時：3月20日（水・祝）11:00～17:00（予定）

シンフラックス

Synflux（スペキュラティヴ・デザインラボラトリー）



次代のファッションをつくりだす思索的デザインラボラトリー。デジタル技術を活用し、持続可能な未来を目指す研究開発や社会実装に従事している。H&M Foundation Global Change Award アーリー・バード特別賞など受賞多数。

<https://synflux.io/>

Photo by Keta Tamamura

3. CCBTおよび都内での作品等の発表 [5]

【開催終了】TMPR ワークショップ 「動点観測所 (35.39.36.02/139.42.5.98)」

技術と人間の「平熱の共存」に挑戦する。
AIによる「予測」と人間の「体感」のズレを、200名の市民とともに検証しました。

日時：2024年1月12日（金）～21日（日）13:00～19:00 ※月曜休館

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

AIをはじめとする情報社会と人間の関係性を探ることを目的に、アプリケーション開発、ワークショップのデザインと開催、得られたデータの検討・考察、それらをまとめた記録ブックの制作を行うプロジェクト。2024年1月には、本プロジェクトの一環として、市民参加型ワークショップ「動点観測所 (35.39.36.02/139.42.5.98)」を渋谷の街なかで開催し、延べ200名を超える人々が参加しました。本ワークショップでは、人間活動の軌跡や過去のデータのインプットによって成立している「人工知能 (AI)」の予測と、人間の体感がいかに異なり、またシンクロするかを市民検証。これにより、AIと人間が協働して世界を観測するというフィクショナルなストーリーのもと、日常に潜むテクノロジーの認識の更新を促し、技術と人間の「平熱の共存」に挑戦しました。



■ワークショップの様子



参加者による観測ルート選択



「動点観測所」受付



CCBTを拠点とした渋谷街なか観測



AIによる予測日記の添削

てんぷら

TMPR (岩沢兄弟+堀川淳一郎+美山有+中田一会) (Tokyo Motion Point Researchers)



デジタルとフィジカル、ハイテクと手作業、モノの視点とヒトの視点を行き来しながら、まちと遊びリサーチユニット。立体デザイナー、立体プログラマー、平面デザイナー、対物プランナー、対人プランナーが協働中。2023年結成。読み方は「てんぷら」。